

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 たからづか縁卓まちづくりネット

1 事業名	「もっと」地域で子育て・他孫育て応援 講演&交流イベント
2 事業の内容（実施日、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	2024 年 2 月に開催した他孫育て講演会には、地域活動に前向きなシニアが多く集まり、トークセッションでは子育て世代の生の本音を聞くことができたことで、参加者の満足度が非常に高かった。アンケートでは「実際に子育て活動をしてみたくなった」「多くの人に聞いてほしい内容」という声が多く寄せられたことを受け、「生の声」、「口コミ」、「具体的なアクション」に注目し、子育て支援に興味のあるシニア層向けに、より一層地域の子育て・他孫育てを促進するためのイベントを実施しました。 ・シニアによる子育て応援活動のすすめ 講演会&子育てサポーター募集説明会 日時：2024 年 6 月 8 日（土）10：00-12：00 会場：男女共同参画センター 参加費：無料 参加者：30 名 ・講演「健康長寿のために役割を担う～なぜ市民が子育て支援活動に参加するのか」とが未サポ説明会を実施しました。 参加者からは、すでに活動している方にとっては「答え合わせ」の場となり、子育て支援が介護予防や自身の生きがいにもつながることを再認識する機会となったとの声がありました。講演ではデータに基づいた話が展開され、具体的なアクションの提示、ファミリーサポートの説明、市長の挨拶と、流れの整った構成で理解しやすい内容となりました。その結果、提供会員 2 名の新規入会がありました。 周知・集客の課題などが浮き彫りとなりました。高齢者を対象としたイベントでしたが、「高齢者による子育て支援（学校応援団など）」関心のある層にも有益な内容であり、今後は学校や PTA 関係者にも広げることが有効だと考えられます。教職員にとっては、地域との関係構築の知識を学ぶ機会となり、PTA には地域との交流を通じてその意義を実感する場ともなりました。 ・シニアの子育て支援活動経験者の交流座談会 日時：2025 年 2 月 7 日（金） 会場：まちのつどいば ここおる 参加費：無料 参加者：12 名 コミュニティで支えあい活動を長くされているシニアと、ファミリーサポートセンター

の提供会員をされているシニアが集まり、活動を始めたきっかけや、悩みなどを共有しながら、お互いのモチベーションを高めあったり、何かやってみたいシニアが活動をはじめのきっかけとなるヒントを知る目的で開催しました。

参加者からは、転勤や地域のつながり不足による子育ての経験、地域の支えに助けられた体験、そして恩送りの精神で支援活動が続ける動機などが語られました。また、支援の現場では家庭ごとの事情に応じた柔軟な対応が求められることや、支援者自身の家族の理解の難しさも共有されました。

座談会で語られた内容は、2025 年度のシニア子育て情報誌「もちつもたれつ」に記事化して掲載します。

3 市制 70 周年をお祝いした内容

- ・講演会チラシにてロゴを掲載
- ・講演会会場にて市長のあいさつ、Youtube での活動紹介にて 70 周年記念事業であることを PR できた。

市の記念事業として取り組めたことで、同じ 70 周年記念事業の他の活動や事業についても知ることができ、異なる視点からのアプローチや協力の可能性についても考える機会となりました。

10 年後の宝塚市が、世代を超えた支えあい当たり前になり、「子育てを地域全体で応援するまち」としてさらに発展していくことを願っています。

4 事業の効果・成果

・今回の講演会では、ファミリーサポート会員に限定せず、「シニアによる子育て応援」という広い視点で企画を行ったことで、支援活動の意義や参加のきっかけづくりにつながる貴重な機会となりました。特に、シニア層が地域の子育て支援にかかわることの意義や具体的な方法について、多くの参加者が理解を深めることができました。

アンケート結果からも、「退職後に提供会員として活動したい」「夫にも話してみる」「すきま時間で役立ちたい」「高齢だから不安だったが、勇気をもらえた」など、前向きな声が多数寄せられ、通常ファミリーサポート登録説明会とは異なるアプローチがきたことが確認されました。これにより、これまで支援活動を考えていなかった方々にも、新たな関心を持ってもらうきっかけになったと考えます。

今後もシニアの視点に寄り添った形での企画を進め、地域における多世代交流や子育て支援の輪を広げていくことを目指していきます。

・座談会

今回の座談会では、ファミリーサポート提供会員に限らず、他の場で子育て支援を行っているシニアの方々とも交流する機会を創出することができました。普段の会議やイベントでは、業務的な情報共有が中心となり、じっくりと対話する機会が少ないため、今回の座談会を通じて、お互いの活動を振り返りながら労い合う場となりました。

また、支援活動に対する想いや悩みを共有することで、共感や新たな気づきを得ることができ、参加者のモチベーション向上にもつながりました。特に、異なる形で子育て支援に関わる方々の取り組みを知ること、自身の活動の幅を広げたり、新しい協力の可能性を

探る機会となったことが大きな成果です。

このような座談会を継続することで、シニアの子育て支援者同士のつながりを強化し、支援の持続性を高めることができると考えられます。今後もこうした対話の場を意図的に設けながら、地域の子育て支援の活性化を図っていきたいと思います。

5 実施した安全対策